

平成26年度公金の保管状況及び運用実績（見込み）について

美濃加茂市では、公金の運用実績を公表することにより、開かれた市政を推進していきます。今回は、平成26年12月末現在での運用の見込みを公表いたします。前年度見込みと比較してご覧ください。平成26年度実績の公表については、今年9月ごろを予定しております。

1 歳計現金と歳入歳出外現金

「歳計現金」と「歳入歳出外現金」の毎月末の残高状況は、第1表のとおりです。この金額は、毎月実施する例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

第1表 歳計現金・歳計外現金の月末残高

時期 \ 区分	歳計現金 (円)	歳入歳出外現金 (円)	合計 (円)
平成26年 4月末	1,225,063,715	324,417,621	1,549,481,336
5月末	3,293,595,163	352,907,432	3,646,502,595
6月末	3,412,718,374	515,569,057	3,928,287,431
7月末	2,872,981,043	674,162,272	3,547,143,315
8月末	3,145,096,693	354,849,936	3,499,946,629
9月末	1,945,405,544	486,834,613	2,432,240,157
10月末	409,313,122	363,635,023	772,948,145
11月末	338,011,810	465,300,940	803,312,750
12月末	700,535,879	363,947,102	1,064,482,981
平成27年 1月末			
2月末			
3月末			

【地方自治法（抜粋）】

（現金及び有価証券の保管）

第235条の4 普通地方公共団体の歳入歳出に属する現金(以下「歳計現金」という。)は、政令の定めるところにより、最も確実かつ有利な方法によりこれを保管しなければならない。

2 債権の担保として徴するもののほか、普通地方公共団体の所有に属しない現金又は有価証券は、法律又は政令の規定によるのでなければ、これを保管することができない。

3 法令又は契約に特別の定めがあるものを除くほか、普通地方公共団体が保管する前項の現金(以下「歳入歳出外現金」という。)には、利子を付さない。

【地方自治法施行令（抜粋）】

（歳計現金の保管）

第168条の6 会計管理者は、歳計現金を指定金融機関その他の確実な金融機関への預金その他の最も確実かつ有利な方法によつて保管しなければならない。

（歳入歳出外現金及び保管有価証券）

第168条の7 会計管理者は、普通地方公共団体が債権者として債務者に属する権利を代位して行うことにより受領すべき現金又は有価証券その他の現金又は有価証券で総務省令で定めるものを保管することができる。

2 会計管理者は、普通地方公共団体の長の通知がなければ、歳入歳出外現金又は普通地方公共団体が保管する有価証券で当該普通地方公共団体の所有に属しないものの出納をすることができない。

3 前項に定めるもののほか、歳入歳出外現金の出納及び保管は、歳計現金の出納及び保管の例により、これを行なわなければならない。

2 運用基金

定額の資金を運用するために設ける基金（運用基金）に属する現金の毎月末の残高状況は、第2表のとおりです。平成26年12月末現在4本の基金があります。この金額は、毎月実施する例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

第2表 運用基金の月末残高

時期	区分	運用基金 (円)	
平成26年	4月末	85,437,357	
	5月末	163,040,660	
	6月末	166,143,657	
	7月末	167,967,757	
	8月末	168,011,907	
	9月末	184,227,157	
	10月末	184,207,377	
	11月末	184,312,959	
	12月末	184,552,087	
	平成27年	1月末	
		2月末	
		3月末	

市では、「歳計現金」と「歳入歳出外現金」及び「運用基金」に属する現金を一体的に保管しています。これら公金の合計金額の毎月末の残高状況は、第3表のとおりです。

第3表 歳計現金等と運用基金の合計額の月末残高

時期	区分	歳計現金 (千円)	歳入歳出外現金 (千円)	運用基金 (千円)	合計 (千円)	
平成26年	4月末	1,225,064	324,418	85,437	1,634,919	
	5月末	3,293,595	352,907	163,041	3,809,543	
	6月末	3,412,718	515,569	166,144	4,094,431	
	7月末	2,872,981	674,162	167,968	3,715,111	
	8月末	3,145,097	354,850	168,012	3,667,959	
	9月末	1,945,405	486,835	184,227	2,616,467	
	10月末	409,313	363,635	184,207	957,155	
	11月末	338,012	465,301	184,313	987,626	
	12月末	700,536	363,947	184,552	1,249,035	
	平成27年	1月末				
		2月末				
		3月末				

注1 「歳計現金等」 市の一般会計及び特別会計に予算計上された歳入・歳出に属する現金で、日々の支払いのために準備しているもの（「歳計現金」といいます。）と、法令等に基づき一時的に預かる県民税や職員の源泉所得税等の現金（「歳入歳出外現金」といいます。）のことで。

注2 「運用基金」 条例の定めるところにより、特定の目的のために定額の資金を運用するための基金のことで。市ではこのほかに、特定の目的のために資金を積み立てるための基金「積立基金」を設けています。

3 歳計現金等と運用基金の運用実績（見込み）

市では常に収入・支出予定額の把握に努めることにより生じる余裕資金を、安全性と流動性を確保しながら、効率的な運用を行っています。具体的には、指定金融機関や収納代理金融機関への大口定期預金で運用を行っています。

第4表 歳計現金等と運用基金の運用実績（見込み）の比較

年度 区分	平成 25 年度 (見込み)	平成 26 年度 (見込み)
平均資金残高(千円)	3,386,800	2,975,309
年間利子額(千円)	1,520	1,880
運用利回り(%)	0.045	0.063

※ 平均資金残高・・・平成26年4月1日から12月末日までの1日あたりの資金残高

※ 運用利回り・・・年間利子額÷平均資金残高×100(%)

4 積立基金

「積立基金」の毎月末の残高状況は、第5表のとおりです。この金額は、毎月実施する例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

第5表 積立基金の毎月末の残高

時期 区分	運用基金 (円)
平成26年 4月末	5,053,066,445
5月末	5,041,434,228
6月末	5,041,434,228
7月末	5,041,434,228
8月末	5,041,434,228
9月末	5,041,434,228
10月末	5,566,078,228
11月末	5,566,078,228
12月末	5,566,078,228
平成27年 1月末	
2月末	
3月末	

【地方自治法（抜粋）】

(基金)

第241条 普通地方公共団体は、条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するための基金を設けることができる。

2 基金は、これを前項の条例で定める特定の目的に応じ、及び确实かつ効率的に運用しなければならない。

(中略)

7 基金の管理については、基金に属する財産の種類に応じ、収入若しくは支出の手続、歳計現金の出納若しくは保管、公有財産若しくは物品の管理若しくは処分又は債権の管理の例による。

【地方財政法（抜粋）】

（地方公共団体における年度間の財源の調整）

第4条の3（略）

2 前項の規定により積み立てた金額(以下「積立金」という。)から生ずる収入は、すべて積立金に繰り入れなければならない。

3 積立金は、銀行その他の金融機関への預金、国債証券、地方債証券、政府保証債券(その元本の償還及び利息の支払について政府が保証する債券をいう。)その他の証券の買入れ等の確実な方法によつて運用しなければならない。

(財産の管理及び運用)

第8条 地方公共団体の財産は、常に良好の状態においてこれを管理し、その所有の目的に応じて最も効率的に、これを運用しなければならない。

5 積立基金の運用実績（見込み）

市では、「積立基金」に属する現金を安全性と確実性を確保したうえで、効率的な資金運用を行っています。基金の取崩しや積立等を考慮しながら大口定期預金や債券（地方債）で運用を行っています。平成26年末現在8本の基金があり、一括管理を行っています。

第6表 積立基金の運用実績（見込み）の比較

区分 \ 年度	平成 25 年度 (見込み)	平成 26 年度 (見込み)
平均月末残高(千円)	4,667,029	5,217,608
年間利子額(千円)	11,617	12,736
運用利回り(%)	0.249	0.244

※ 平均月末残高・・・平成26年4月当初から12月末までの毎月末残高の合計額を9で除したのもの

※ 運用利回り・・・年間利子額÷平均月末残高×100(%)

6 基金の保管状況

運用基金に属する現金の平成26年末の現在高は、1億8,455万円ほどとなっており、前年度末対比で3億385万円ほどの減となっています。基金に属する現金は、歳計現金等とあわせて普通預金で保管を行い、当面取り崩す予定のない現金については、定期預金で運用を行っています。（第4表参照）

第7表－1 運用基金の現金の年末残高

基金名 \ 区分	平成26年3月末現在 (円)	平成26年12月末現在 (円)	比較増減 (円)
土地開発基金	465,109,464	160,759,744	▲ 304,349,720
高額療養費貸付基金	5,553,478	5,557,290	3,812
美術品等収集基金	10,021,000	10,026,717	5,717
ふるさと文庫基金	7,721,245	8,208,336	487,091
合計	488,405,187	184,552,087	▲ 303,853,100

積立基金に属する現金の平成26年末の現在高は、55億6,608万円ほどとなっており、前年度末対比で5億1,301万円ほど増加しています。基金に属する現金は、定期預金と債券（地方債）による運用を行っています。（第6表参照）

第7表-2 積立基金の年末残高

基金名	区分	平成26年3月末現在 (円)	平成26年12月末現在 (円)	比較増減 (円)
財政調整基金		3,177,178,955	3,584,445,585	407,266,630
国保	財政調整基金	460,746,370	461,872,538	1,126,168
福祉基金		314,125,869	314,893,653	767,784
減債基金		578,399,346	579,813,084	1,413,738
国際交流基金		32,201,139	29,110,847	▲ 3,090,292
ふるさと水基金		10,792,761	10,819,143	26,382
介護給付費準備基金		279,622,005	284,777,080	5,155,075
庁舎建設基金		200,000,000	300,346,298	100,346,298
合計		5,053,066,445	5,566,078,228	513,011,783